

# わけもん きばっちょっど

## 未来に届け 第20回

**問** 今回は どのスゲ〜団体を見つけてきたと…。  
 こんども期待しちよるからねー!!  
 わくわくするっちゃんが〜 早う教えない。

**答** 今回も宮崎で知らん方がおらんぢゃないかな〜。  
 それは高鍋高校のホッケー部じゃつとよ…。  
 毎年県ナンバーワンに輝いているっちゃんけど、  
 山梨国体で勝ち進み全国ベスト4に入ったっちゃん  
 げな〜。スゲーがね！まぁ記事を見てん。

### 「九州No.1」・「全国ベスト4」 一気に2つの目標を達成できた 高鍋高校ホッケー部

「九州No.1」・「全国ベスト4」高鍋高校ホッケー部のこの目標は、九州1位となったからには、全国でもベスト4の力を持って九州代表として戦おうというもので、この日の実現に向けて、日々の練習に取り組んできました。

今回、九州1位になり、19年ぶりの国体出場を果たし、準々決勝で関東1位の山梨県に1-0で勝利し、ベスト4となりました。一気に2つの目標を達成できたことは、一朝一夕で成し遂げられることではありません。同じ想いを共有しながら卒業した部員達、創部以来から支援してくださっている方々、地域の皆様や保護者、学校関係者、チームスタッフの支援の賜であると実感しています。様々な方々からの力添えをいただき、この成果を成し遂げた選手達は私の誇りです。

準決勝、3位決定戦共に力の差を感じさせられた結果となったことで、私はもちろん、選手達も新たな決意を持つことができました。今後も私たちが、コツコツと努力を積み重ね、ホッケーを通して選手達はもちろん、関わってくださる方々の人生が更に豊かになるような活動をしていきたいと思ひます。今後とも高鍋高校ホッケー部へのご支援ご協力をよろしくお願い致します。



ホッケー部全員で、「九州No.1になるぞ!!!」「国体に絶対出るぞ!!!」という気持ちで決勝戦の長崎県との戦いに挑みました。緊張していましたが、みんなで声を掛け合い、フォローし合いながら、インターハイ予選で負けた悔しさをバネに最後まで走り抜きました。みんなで繋いで取得したセットプレーからの1点を守り抜き優勝した瞬間は、あまりの嬉しさに皆でフィールドに泣き崩れたほどでした。この結果は、19年ぶりに国体に出場するという快挙を成し遂げたことであり、本当に嬉しかったです。



九州一位であるということに自信と誇りを持ち、挑んだ国体での舞台では、強豪の山梨県に勝利でき、念願であったベスト4に入ることができたことで、自信に繋がりました。この勝利を成し遂げるために様々な努力と準備をしてきました。たくさんの支援があり、この結果になったことに感謝しています。

またすぐに選抜九州予選があります。受験勉強のために、国体をもって引退した3年生もいるので、また新体制としてチームをまとめ、高鍋らしいホッケーで優勝を目指し、たくさんの方々へ恩返しをしたいと思ひます。

高鍋高校ホッケー部主将 谷 柚 季

## 編集後記

この「議会だより」の発行を以つて、我々6名の広報委員による編集作業を終えることとなりました。読み易く、公平公正な内容の紙面となるよう、常に心掛けては参りましたが、いかがでしたでしょうか。読者の皆様、そしてこれまで、ご助言ご協力をいただいた皆様に感謝いたします。有難う御座いました。

広報編集委員長

(田中義基・記)



杉尾浩一 古川 誠 永友良和  
 八代輝幸 田中義基 日高正則